

令和8年度

小松島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自分の意見や思いを伝え合う授業の実践
- 一人一台のタブレット端末やICTを効果的に活用する授業の実践

校長

山下 崇

学力向上推進員

西崎 仁美

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○個人差はあるが、漢字の読み書きや計算などの基礎的・基本的な知識・技能は少しずつ伸びてきている。 ●読書が好きな児童も多いが、文章を読むことに抵抗感がある児童も見られる。	・基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、国語・算数の単元末テストで80点以上とることができる。 ・資料や新聞を活用し、語彙力を高め、文章を正確に読んだり正しい言葉で書いたりすることができる。	・朝のジャンプアップタイムで漢字、計算などの反復練習を行ったり、AIドリルを活用したりして、基礎的・基本的な内容の習得を図る。 ・学級文庫を整備し、読書活動を推進する。 ・あわっこタイムズデーで新聞を活用して文字に親しみ、語彙を増やすとともに、文章を書く機会を増やし、自分の思いを表現できるようにする。 ・チャレンジ宿題デーで文章題に取り組むことで、文章を読む機会を増やし、文意を読み取る力を養う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基本的な話型を見たり、事前に考えを書いたり、小グループで話したりすると、自分の考えや思いを全体に発表することができる。 ●自分の思いや考えを筋道立てて相手に分かりやすく伝えることに課題がある。	・他者の意見と自分の意見を比較・関連付けながら聞いたり、自分の思いや考えを筋道立てて相手に分かりやすく伝えることができる。	・ペア学習やグループ学習、討論などを授業に取り入れる。 ・授業の終末に振り返りを位置付けて、自分の考えや学んだことを書いたり発表したりできるようにする。 ・他教科とも関連付けながら、各教科で学んだことを活用して表現する課題を設定し、取り組むことができるようにする。 ・集会活動等で、感想や意見を伝え合う場面を設定する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○多くの児童が落ち着いて学習に取り組む、学習や生活のきまりを守って学校生活を送ることができている。 ○異学年での活動や行事を通して、認め合う機会が増え、自己肯定感が高まりつつある。 ●自ら学習課題を見つけたり、計画を立てたりすることに課題がある。	・自ら学習課題を見つけ、解決できるように計画を立て、実践することができる。 ・主体的に学習し、学んだことを生活に生かそうとすることができる。	・子どもたちの学びたいという意欲につながる課題設定を促す。 ・自分で課題設定が難しい児童でも意欲的に取り組めるよう、個に応じた支援を準備する。 ・きらり班活動や集会活動を通して、異学年交流の機会を計画的に設定する。 ・メンター制度を活用し、教員間で授業改善の情報交換をする。			